

■教育現場のICT環境の整備

学校におけるICT環境の整備につきましては、国の総合経済対策の一環として「GIGAスクール構想」の実現が打ち出され、校内通信ネットワークの整備と義務教育段階における児童生徒に一人一台のタブレットを備えるための補正予算が措置されたところです。

桂川町におきましても、国の補助事業を活用し、校内通信ネットワーク整備をはじめとする学校のICT環境の整備を推進していきたいと考えています。

■社会教育の取り組み

町全体で子どもたちを見守り育てる環境づくりを推進するため、通学合宿や夢・人・未来塾、ゆのうら体験の杜を活用した体験活動等、青年の健全育成活動等に積極的に取り組むとともに、ことぶき大学や文化連合会をはじめ、いろいろな団体のサークル活動の充実を図り、町民の皆さんのニーズに応えられる生涯学習の機会を提供してまいりたいと考えています。

なお、地域コミュニティの活性化を目的として創設した「地域はつらつ応援助成金」は各行政区において有効に活用されており、それぞれの地域の特性を生かした元気なまちづくりの推進に期待するものです。

■文化財振興

国指定特別史跡・王塚古墳については、現在、年2回の一般公開を行っています。以前から、公開日の拡大や照明、補強用鉄柱の改善などの課題が指摘されてきました。このことを受け、王塚古墳の文化遺産としての素晴らしさを発信できるように「王塚古墳保存活用計画」を策定し、その実現に向けて国、県と連携して取り組んでいきたいと考えています。



■桂川町立図書館

図書館は、昨年、開館20周年を迎え、それに先立ち来館者100万人を超えるなど、多くの方々に利用されてきました。

また、昨年は、図書ボランティアグループの布っ子の活動や作品が高い評価を受け、「全国優良読書グループ表彰」「手づくり布の絵本全国コンクール最優秀賞」「福岡県教育文化表彰」などの表彰を受けました。今後も、それぞれのグループ活動が充実・発展していくことを期待するとともに、読書活動の推進を図ってまいります。



▲第11回手作り布の絵本全国コンクールにて最優秀賞を受賞した図書ボランティア布っ子の作品。